

会 議 録

1 会議名

令和4年度第2回上越市みんなで防犯安全安心まちづくり推進会議

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 防犯に関する市民意識調査の結果について

(2) 推進計画改訂の骨子案について

3 開催日時

令和4年10月18日（火）午前10時00分から午前10時55分まで

4 開催場所

上越市役所木田第一庁舎4階401会議室

5 傍聴人の数

2人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員：片桐史裕、五十嵐加代子、山本克志、牛木洋子、阿部利夫、山本良昭、
熊木敏夫、飯塚よし子、市川重隆

・事務局：市民安全課 宮下課長、山岸副課長、岡田係長、中村主事

8 発言の内容

(1) 開会

【宮下課長】

当会議は、「上越市みんなで防犯安全安心まちづくり条例」に基づき設置されており、安全安心なまちづくりの推進を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項を審議するために開催する。

前回の会議の後、上越市防犯協会の取り組みとして、「防犯に関する市民意識調査」を実施しました。本日の会議は、市民意識調査の結果の説明と次期推進計画の骨子案について審議いただきたい。

(2) 会長あいさつ

本日は、多用の中、上越市みんなで防犯安全安心まちづくり推進会議にお集まりいただき、感謝申し上げます。

当会議は、安全で安心な地域社会の実現に向け、市民と一体となった防犯の取組を推進するために設置されています。市民の生活を脅かす犯罪の発生を一件でも減らすことを目標に掲げ、取り組んでいる。

今年度は、上越市みんなで防犯安全安心まちづくり推進計画期間の最終年度にあたり、次年度以降の計画を策定する必要があり、前回の会議では、各種の施策や事業の進捗確認とあわせ、計画改訂に向けた作業内容について協議した。

本日の会議では、前回の会議で実施することを決定した防犯に関する意識調査の結果報告とあわせ、次期推進計画の骨子案について協議したいので、委員の皆様からは、忌憚のない意見を頂戴したい。

(3) 議題

【阿部会長】

議題は、(1) 防犯に関する市民意識調査の結果について、(2) 推進計画改定の骨子案についての2点。まず、議題(1)について、事務局から説明をお願いしたい。

【岡田係長】

資料1「防犯に関する市民意識調査結果報告書」に基づき説明。

【阿部会長】

事務局から議題(1)について説明があった。皆様からご意見を頂戴したい。

【牛木委員】

資料13ページ、地域の防犯活動に積極的に参加したいという人が減っている一方、できれば参加したくないという人が増えている。この状況をどのようにとらえているか。

【山岸副課長】

参加したくない、できれば参加したくない人の理由としては、忙しく地域の活動に参加できないという理由のほか、身体的理由、年齢によるもの、介護などの理由があり、地域の活動に自分の時間を割くことが難しい人もいるようである。

多くの方が地域の防犯活動に参加していただくことによって、地域の防犯力向上につながると考えている。忙しくて活動に参加することが難しい人に対しては、例えば、110 ばん協力車ステッカーを貼った車で地域を回る「ながらパトロール」など、日常生活の中で比較的簡単にできる取り組みを紹介していきたい。

【牛木委員】

活動している人が減っているという実感はある。どのようにしたら防犯活動に参

加・協力してもらえるか考えていきたい。特に、子供たちのパトロールについても考えていただければと思う。

【飯塚委員】

資料 7 ページ、防犯カメラの設置について、市として防犯カメラの設置台数や場所は把握しているか。また、防犯カメラの設置をこれからも行ってもらいたい。

【山岸副課長】

施設の管理者がそれぞれで設置しているということもあるため、カメラの数は把握していない。

犯罪の抑止力という点では効果があると考えているが、特定の場所しか映すことができない、設置後の管理など課題もあるため、現状、市が直接設置を推進するという方針はない。

意識調査の回答の中で、自宅周辺での犯罪を心配されている方も多かった。自宅周辺に設置することは有効かと思う。

【飯塚委員】

通学路への設置は考えていないのか。また、自宅に設置する場合の補助制度は考えていないか。

【宮下課長】

通学路と言っても、児童の数だけ通学路があるため、有効な設置箇所を考えると疑問点がある。県内の他の自治体で補助制度があることも承知しているが、通学路における防犯活動は、見守り活動を中心をお願いしている状況である。

防犯カメラに抑止効果はあるが、犯罪を直接防ぐことはできないため、地域の方の見守り活動の中で子供たちを守っていきたいと考えている。

また、現時点では、補助金制度を作ることも考えていない。

【山本（良）委員】

平成 18 年は犯罪に対して不安を感じている人の割合が多かったが、年が経つにつれてこの割合が下がってきている。実際に犯罪の件数が下がっているのか、啓発の効果によって安全安心につながっているのか理由はわからない。安心に感じる人が多くなっているため、活動への参加意欲が下がっているのかもしれない。また、地域ごと、年齢層別で防犯に対する意識が違うのかもしれない。

平成 18 年に比べて、情報の取り方も変わってきているため、相手に合わせた情報発信をすると活動意欲につながっていくのではないかと。

【山岸副課長】

情報発信の仕方も今後考えていきたい。アンケート結果についても、今後詳しく分析したい。

【阿部会長】

コロナ禍ということもあり、町内の会合や活動が減ってしまった。

南城町4丁目では、年2回、班ごとに拍子木を鳴らして回るという活動をしている。一斉に活動することで、参加しない住民も何か活動をやっているなど気にかけてもらえるため、効果があると思っている。

【阿部会長】

今ほど、いくつかのご意見があったが、これ以上ないので次に進む。議題(2)について、事務局から説明をお願いしたい。

【岡田係長】

資料2「推進計画改訂の骨子案」に基づき説明。

【阿部会長】

今ほど、事務局から議題(2)について、説明があった。皆様からご意見等を頂戴したい。

【宮下課長】

計画の骨子の中で、近年の刑法犯認知件数等をグラフ等を用いて概括的に説明した。近年、特殊詐欺が増加傾向にあるため、現状や対策について上越警察署生活安全課長である山本(克)委員からご説明いただけないか。

【山本(克)委員】

犯罪発生状況は、9月末で前年同月比マイナス3件となっている。犯罪の種類で見ると、ほとんどの分類では減少しているものの、詐欺被害は非常に増加しており、特殊詐欺だけでなく、ネットを介した詐欺も増えている。

特殊詐欺については、9月末時点で18件、1億1,116万円の被害が発生している。中でも、様々な名目で料金を請求してくる架空料金請求詐欺が特に多くなっている。また、市役所職員等をかたってATMで手続きを指示してくる還付金詐欺も増えている。

被害にあった方にアンケートを取っているが、ほとんどの人が還付金詐欺や架空料金請求詐欺という名前は知っていたものの、自分が被害にあうと思っていなかったため、詳しい手口を知らなかったという人が多いことから、警察では、様々な機会を通じて細かい手口についても広報していきたいと考えている。

防犯意識の向上という点では、各地区での防犯に関する会合が減っているため、市民の皆さんに言葉で伝える機会が減ってしまっている。コロナウイルスの感染状況が落ち着いてくれば、会合等を通じた広報も行っていきたい。

刑法犯認知件数は減っているものの、犯罪や事件事故の情報はリアルタイムに映像で報道されることもあり、住民の犯罪に対する意識面に影響を与えているのではないかと感じている。

【阿部会長】

ほかに意見、質問等はあるか。

これ以上ないので、議題(2) 推進計画改訂の骨子案につきましては、説明のあった内容を骨子として改訂作業を進めていく。

本日予定されていた議題については、すべて終了した。この機会なので、何かご意見ご質問等はあるか。

【各委員】

意見等なし

【阿部会長】

特にないようなので、これをもって議長の任を解かせていただく。

(4) その他

【山岸副課長】

本日、皆様から審議いただいた推進計画の改訂について、今後の会議の開催予定をお伝えさせていただく。

次回は、来月 11 月下旬に、計画の改訂案について皆様から審議いただきたいと考えており、その後、パブリックコメント等の必要な手続きを進め、来年 3 月に、計画公表に向けた最終確認をお願いしたい。時期が近くなったら、改めて案内する。

9 問合せ先

防災危機管理部市民安全課防犯・交通安全係

TEL : 025-520-5661 (直通) E-mail : shimin-anzen@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。